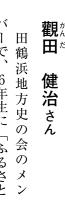
浜っ子の笑顔が私たちの喜びです

保育園や小学校で活動する町の先生に子どもたちへの思いややりがいを聞きました



導し、今では37枚にもなりまどに設置する銘板の製作を指す。毎年数枚、名所や旧跡な した。 行事や歴史などを伝えて

ています。 気持ちを持 らお、地域のたちには、 はしいと思地域を愛する っる



歴史教室」を開き、町の伝統バーで、6年生に「ふるさと 田鶴浜 いま

地域を理

子どもたちが物事を素直に

を知ってもらう機会にしたい余りの歴史がある田鶴浜建具

組子体験を通して36

0

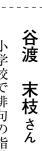
年

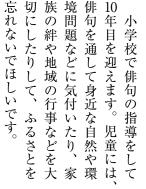














加賀 忍さん

立 川

美治さん

います。子どもたちに地域のこ通じて礼儀作法と美学を教えて 傘を飾るなど工夫しています。 などの雰囲気を出せるよう野点 とを知ってもらうため、赤倉・ 5年程前から保育園で茶道を

と思い、児童の組子体験教室鶴浜建具の普及啓発になれば田鶴浜の地場産業である田

などに協力しています。と思い、児童の組子体

じています。 吸収するところが素敵だと感 相手に対す 相手の気持ち なっる思 ていを

を使い、子どもや高齢事前に準備した組子

したことを聞くとうれしく思んでもらいたいですし、入賞ろな俳句大会に投句して楽し

気軽に俳句を作っていろ

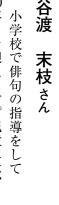
と思っています



を感じます。

、ます。

























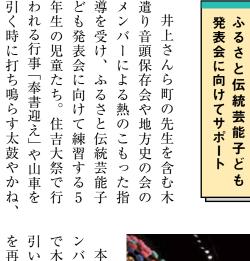




る児童も



披露目会では、



導を受け、







場から大きな拍手が送られ、 とを学んでくれてありがとう」 代表して井上さんは「地域のこ 全員に感謝の気持ちを伝えると、 最後に児童がお世話になった人 メンバーも達成感をにじませた 童は晴れ晴れとした笑顔を見せ、 場から大きな拍手が送られ、児を再現した。発表が終わると会 で木遣り音頭をうたい 本番では、指導に当たったメ が児童と一緒に舞台の メンバ 地域一体となって祭り ーは温かい 山車を まな

「木遣り音頭」

5 七尾ごころ 2018.12 七尾ごころ 4